



学校の環境整備に役立てて

豊国工業が備品を寄贈

伊賀市小田町のスチール家具製造業「豊国工業」が地域の学生たちをサポートするため、各銀行で発行する「SDGs 私募債」を活用し、学校への備品の寄贈に力を入れている。同市緑ヶ丘西町の伊賀白鳳高には、3Dプリンター一台と制作に使用するプラスチック素材を寄贈した。

(瀬里崎蒼馬)

伊賀白鳳高に3Dプリンター



寄贈した3Dプリンターと(左から)市田支店長、松本校長、井上社長、伊賀市緑ヶ丘西町で

銀行のSDGs制度活用 社債発行

SDGs 私募債は、国連の持続可能な開発目標(SDGs)に賛同する企業が各銀行で社債を発行する際に、手数料の一部で物品を購入し、地域の団体や学校に寄贈する仕組み。今回は滋賀県甲賀市の京都銀行水口支店で債券を発行した。

寄贈する物品は学校側の希望を踏まえて選んでいる。プリンターはプラスチック素材のフィラメントを溶

かし、積み重ねることで立体物を形成する。立体物のカテゴリーもあり、スマートフォンなどでカテゴリーのQRコードを読み込んでデータをプリンターに送ると、簡単に立体物を作ることができる。

プリンターは図書館に設置し、当面は授業や部活で活用する。いずれは全生徒が利用できるようにする。

松本徳一校長は「学科を超

えた生徒たちの交流にうまく活用していきたい」と語った。

二十五日に同校であった贈呈式では、水口支店の市田徳彦支店長が松本校長に目録を手渡し、学校側は豊国工業の井上明彦社長に感謝状を贈った。

井上社長は「少しでもやりがいのある楽しい学校づくりに貢献できたら」と話した。

近大高専にウッドベンチ3台



贈呈式に出席した(左から)井上社長、高藤校長、下川支店長。名張市の近大高専で

豊国工業と南都銀行名張支店(名張市元町)は、同行の「SDGs 私募債」を活用し、近畿大工業高等専門学校(同市春日丘七番町)にはウッドベンチ三台を寄贈した。

十九日に同校で開かれた寄贈式には、名張支店の下川哲也支店長、豊国工業の井上明彦社長らが出席。井上社長は「近大高専がさ

らに魅力的な学校になり、人が集まって地域が活性化されるよう願っている」と話した。

ウッドベンチは三人掛けで、体育館西側の屋外スペースに設置される。目録を受け取った斎藤公博校長は「学生がゆったりと過ごせる環境をつくるため、活用させて

いただきたい」と感謝した。

(新居真由香)